

KANTOU

かんとう

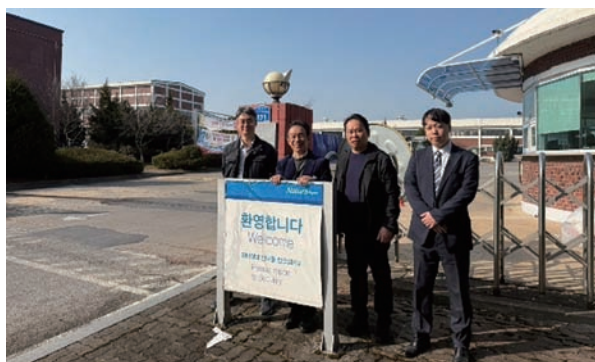


初夏のわたらせ渓谷鐵道（群馬県・みどり市）

特集／関東商組 第63回通常総会
全原連 第49回通常総会
第42期 三紙会総会
委員会トピックスー需給委員会
支部だよりー東京都西支部

夏号

需給委員会 韓国視察



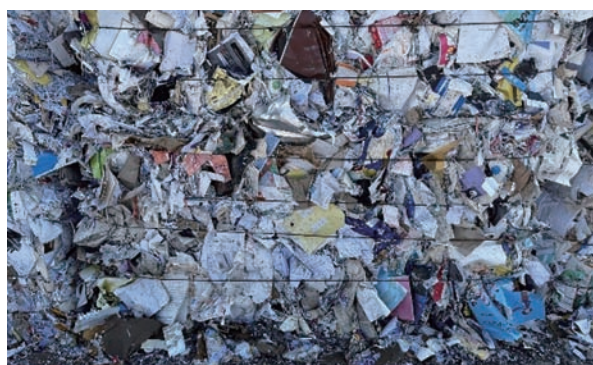
PAPER COREA (Natura Paper)



Kyungin Recycling



KONP



KOMG

安全セーフティ+ 災害報告への協力をお願い

セーフティ+では、古紙業界の「無事故・無災害」の達成に向けた活動を強化しております。実際の事故・災害事例を共有し、実例に基づいた啓発活動を行うため、万が一事故が発生した際には、以下のアンケート形式にてご報告をいただけますようお願い申し上げます。



【事故・災害報告アンケート】 所要時間：約 5 分程度

回答方法： <https://forms.gle/kiyx2eNquusjJwvT9>

備考：いただいた内容は、本調査の目的以外には使用いたしません。

業界全体で安全情報の共有を進め、誰もが働きやすい環境づくりに邁進してまいります。今後とも変わらぬご協力をお願い申し上げます。

巻頭言

関東商組
理事長就任あいさつ

このたび、関東製紙原料直納商工組合の理事長を拝命いたしました、上田晴健でございます。まずは、日頃より当組合の事業運営に多大なるご理解とご協力を賜っております組合員各位ならびに関係機関の皆様に、心より御礼申し上げます。

ご承知のとおり、少子高齢化や人口減少、デジタル化の進展による紙需要の変化、さらには人手不足や燃料費・物流コストの上昇など、古紙リサイクルを取り巻く環境は大きく変化しております。

その中であって、日本の古紙回収率は80%を超え、世界的にも高い水準を維持しており、古紙利用率も60%台後半と安定して推移しています。こうした高いリサイクル水準は、長年にわたる組合員各社の努力と、自治体・地域住民の皆様との地道な取り組みの成果であり、まずもって深く敬意を表したいと存じます。

一方で、国際情勢や為替の変動、輸出入規制の変化などを背景に、古紙の需給や価格はここ数年大きく振れやすい状況が続いております。海外向け古紙輸出の動向は国内の市況にも直結しており、地域によっては一時的な荷動きの停滞や保管負担の増大といった課題も生じております。加えて、カーボンニュートラルの推進や資源循環型社会の実現に向けて、古紙リサイクルへの社会的な期待と責任は、これまで以上に高まっております。



関東製紙原料直納商工組合
理事長

上田 晴健

こうした中で当組合は、

- 安定的な古紙の回収・供給体制の維持向上
- 地域の自治体や学校・企業との連携強化
- 安全・安心な作業環境づくり
- 若い人材に選ばれる業界づくり

といった課題に、組合員の皆様と力を合わせて取り組んでまいります。

私は、理事長として「対話」と「連携」を何よりも大切にし、現場の声に耳を傾けながら、一つひとつの課題解決を図っていく所存です。

これまで先輩方が築いてこられた歴史と信頼を受け継ぎつつ、時代の変化を的確にとらえ、組合員の皆様にとって「頼りになる組合」であり続けられるよう、微力ながら全力を尽くしてまいります。

結びに、これまで組合運営を支えてこられた前理事長をはじめ歴代理事、関係各位のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、今後とも倍旧のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

関東商組 理事会報告

令和 7 年度 第 9 回 理事会報告

開催日時 令和 8 年 3 月 26 日 (木)

午後 3 時～ 4 時 30 分

開催場所 関東商組会議室

出席者数 理事 17 名 監事 1 名

議事要旨

1. 古紙持ち去り関係

(1) GPS 追跡調査実施状況

正規ルート 1 件 (2 月理事会から本理事会の間)

(2) 古紙の循環的利用の適正な確保のための古紙卸売業に関する法律案 (仮称) 要綱 (案) に対する意見

- ・取引記録については仕切書がそのまま使用できるようにしてほしい。
- ・ヤード内外に設置した 24 時間受け入れボックスの扱いはどうなるのか。
- ・報告徴収、立入検査を行うのはどのような場合か。事業遂行の負担にならないようにしてほしい。

2. 各支部市況報告

(記載省略)

3. 第 63 回通常総会関係

① 時間割：通常総会 14:30 懇親会 17:00

会場：アートホテル日暮里

② 次第：総会・需給委員会海外調査報告会・懇親会

③ 来賓：議連、経産省、製紙連、古紙センターほか

4. 再資源化事業等高度化法に係る認定制度の活用に関する動き

- ・製紙連、古紙センターと意見交換を行い、方向性はよしとの結論を得た。
- ・次回は紙製容器包装 R 推進協議会に声かけする。

5. 各会議報告

(1) 総務財務委員会 (3/19 開催)

- ・今年度末収支見込みは厳しいが、わずかながらプラス
- ・来年度予算は優良品認定制度の更新に伴い、総額は今年度比で 5 百万円余増となる。

6. 近代化推進委員会報告

(1) 経営革新委員会 (3/16 開催)

かんとう No.233 目次

編集人の後記	36
新社長紹介	31
セーフティーボイス	30
支部だより	29
東京都西支部	21
委員会トピックス	19
需給委員会	12
第 42 期三紙会総会	7
第 49 回通常総会	5
全原連	2
第 63 回通常総会	1
関東商組	
三紙会報告	
理事会報告	
巻頭言	



表紙写真

わたらせ渓谷鐵道は、渡瀬川に沿って群馬県桐生市 (桐生駅) と栃木県足尾地域 (間藤駅) を結ぶおよそ 44.1 キロの鐵道である。

群馬県及び沿線市や民間企業・個人の出資により設立され、平成元年 3 月に JR 足尾線を引き継いだ第三セクター鐵道で、現在は地域住民の足と観光が中心となっている。

〈渉外広報・IT 委員会〉

- ・古紙 RA の新試験は本年 10 月開始予定。
5 月の全原連経営革新委員会で承認を得る。

(2) 安全防災委員会

- ・セーフティープラスでは 1 月の全原連新年会で熱中症対策アンケート結果報告と災害報告協力依頼を行った。

(3) 需給委員会 (2/26 開催)

- ・国際マーケット調査事業 3 月分見積合わせを行った。
- ・輸出ドレージ；国内配車が厳しくなっている。運賃相場が大きく上昇。
- ・ONP：輸出価格は下落基調。国内メーカーの発注枠が削減され、輸出オファーが増えているためさらに下落する可能性あり。

(4) 三紙会

2 月度 裾物三品仕入実績確定値 (31 社)

	前月比 (%)	前年比 (%)
段ボール	92.7	100.5
新聞	96.5	96.2
雑誌	89.0	95.8

(5) 渉外広報・IT 委員会 (3/17 開催)

- ・かんとう編集部会 232号校正 (4/20 発行予定) 233 号企画会議 (7/20 発行予定) を行った。

7. その他

- (1) 燃料共同購入事業者(株)東日本宇佐美に係る独禁法違反容疑に関する動き
- ・(株)東日本宇佐美は自社 HP でコンプライアンス体制の構築に取り組んでいると表明
- ・共同事業には支障が生じていない。

各種統計資料

1. 32 社古紙在庫月別報告書 (2026 年 1 月)
2. 財務省 貿易統計 古紙輸出の取りまとめ (2026 年 1 月)
3. 日本製紙連合会 紙・板紙需給速報 (2026 年 1 月)
4. 日本製紙連合会 紙・板紙品種別生産・出荷・在庫高表 [暫定] (2026 年 1 月)

次回開催予定

令和 8 年 4 月 24 日 (金) 午後 3 時
組合会議室

令和 8 年度 第 1 回 理事会報告

開催日時 令和 8 年 4 月 24 日 (金)
午後 3 時～4 時 10 分

開催場所 関東商組会議室

出席者数 理事 23 名 監事 1 名

議事要旨

1. 古紙持ち去り関係

(1) GPS 追跡調査実施状況

実施なし (3 月理事会から本理事会の間)

2. 各支部市況報告

(記載省略)

3. 第 63 回通常総会事業報告書 (決算関係を除く)

4. 各会議報告

(1) 総務財務委員会 (4/17 開催)

- ・令和 7 年度収支は 114 万円余のプラスとなった。
- ・定期預金の金利と預入期間の見直しについて商工中金に説明を求めた。
- 具体的な内容については新たに提案してもらうことにした。

(2) 正副理事長・委員長合同会議 (4/17 開催)

- ・4/24 理事会に向けた議題等の調整

5. 近代化推進委員会報告

(1) 経営革新委員会 (4/6 開催)

- ・古紙 RA のテキスト作成及び運用について議論した。

(2) 安全防災委員会

- ・今年度の活動の具体化に取り組んでいる。

(3) 需給委員会 (3/25 開催)

- ・国際マーケット調査事業 4 月分見積合わせを行った。
- ・ONP：輸出価格は下落基調。問屋からの輸出向けの引き合いは先月より落ち着いた

ている。

・韓国視察レポートがまとまった。

(4) 三紙会

3 月度 裾物三品仕入実績確定値 (30 社)

	前月比(%)	前年比(%)
段ボール	114.8	102.4
新聞	108.7	96.5
雑誌	127.9	100.4

(5) 渉外広報・IT委員会

・かんとう 232 号を 4 月 20 日に発行した。

6. その他

(1) 関東地区委員会 (4/21 開催)

2030 年度までの古紙利用率目標値が 67%

に改定された。

各種統計資料

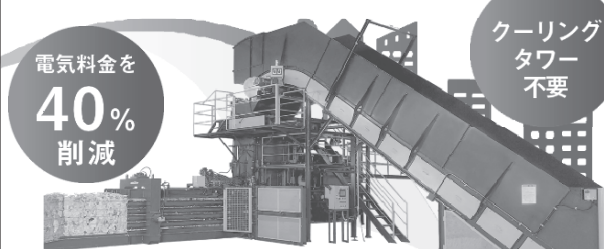
1. 32 社古紙在庫月別報告書 (2026 年 3 月)
2. 財務省 貿易統計 古紙輸出の取りまとめ (2026 年 2 月)
3. 日本製紙連合会 紙・板紙需給速報 (2026 年 3 月)
4. 日本製紙連合会 紙・板紙品種別生産・出荷・在庫高表 [暫定] (2026 年 3 月)

次回開催予定

5 月 14 日 (木) 通常総会直後

アートホテル日暮里

次世代省エネペーラーSW770 型 PHE 誕生



電気料金を
40% 削減

クーリング
タワー
不要

株式会社 昭 和

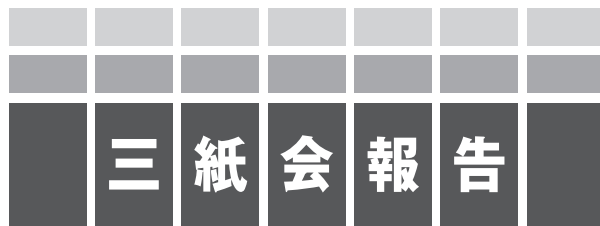
本社 〒134-0091
東京都江戸川区船堀 2 丁目 23 番 21 号
電話 03-3689-0303 FAX 03-3689-0318

ペーラー番線

最良の品質・防錆OK
ートラブル、ロスが少ないー
50K・100K・500K・1000K

坂野興業株式会社

東京本社 TEL03-3718-7311 FAX03-3724-8170
浦安営業所 TEL047-354-6531 FAX047-351-5201
静岡営業所 TEL054-624-1101 FAX054-624-6704



令和8年度 3月 定例会

日 時：令和8年3月24日(火)

15時30分～17時00分

場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹 事：富澤 進一・(株)富澤

濃田 博康・(株)齋藤商店

(活動報告)

(1) 裾物主要三品仕入実績報告 (30 社)

	前月比	前年比
段ボール	98.8%	98.9%
新 聞	103.6%	85.0%
雑 誌	101.2%	94.7%

(2) ブロック別仕入平均単価報告

- ・各ブロック高値の状況は変わらず残っている模様。
- ・変動はあまりしていない。

(3) 委員会活動報告

①業務委員会 (上物市況報告)

[洋紙向け] 低調状態継続

[白板向け] 低調状態継続

[特更向け] 低調状態継続

[家庭紙向け] 中東情勢悪化のため不透明な状況が続く

②研究委員会

・3月新聞チラシ重量調査実施中

③広報委員会

・かんとう 三紙会ツイート 執筆依頼

④財務委員会

・季節変動係数集計中

(4) その他

・4月26日 三紙会 総会

令和8年度 4月 定例会

日 時：令和8年4月26日(日)

15時00分～15時40分

場 所：鬼怒川グランドホテル夢の季 会議室

幹 事：川嶋 秀明・(株)ナコジ

相田 寛文・(株)丸興佐野錦一商店

(活動報告)

(1) 裾物主要三品仕入実績報告 (30 社)

	前月比	前年比
段ボール	114.8%	102.4%
新 聞	108.7%	96.5%
雑 誌	127.9%	100.4%

(2) ブロック別仕入平均単価報告

	平均単価	前月比
段ボール	10.14 円	- 0.12 円
新 聞	13.43 円	- 0.25 円
雑 誌	5.14 円	- 0.06 円

(3) 委員会活動報告

●業務委員会

・上物市況報告

[白板向け] 各社引き続き減産基調継続。古紙在庫も潤沢であり、高値是正が始まっている様子。

[家庭紙向け] 製品の荷動きは中東情勢悪化により活発化している。しかし製品在庫過多であるため、増産には至っていない状況。

●研究委員会：令和8年3月度の新聞・チラシ重量調査の報告。

●広報委員会：特になし。

●財務委員会：裾物三品の季節変動係数算出の報告。

●その他：定例会終了後、第42期総会開催。

令和8年度 5月 定例会

日 時：令和8年5月28日(木)

15時30分～17時00分

場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹 事：増田 悦宏・(株)増田商店

近藤 茂嘉・美濃紙業(株)

|||||

(活動内容)

(1) 裾物主要三品仕入実績報告 (30 社)

	前月比	前年比
段ボール	101.9%	103.1%
新 聞	101.6%	102.9%
雑 誌	103.2%	96.4%

(2) ブロック別仕入平均単価報告

	平均単価	前月比
段ボール	10.19 円	0.05 円
新 聞	13.31 円	-0.12 円
雑 誌	5.13 円	-0.01 円

(3) 委員会活動報告

●業務委員会：上物古紙市況報告

パルプ市況について資料を基に
説明

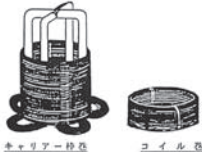
●研究委員会：来月新聞チラシ重量調査願い

●広報委員会：特になし

●財務委員会：特になし

●その他：
委員会メンバー構成の変更について

二十一世紀の環境を守る。
信頼のパートナー。
古紙用ベラー番線。



豊かな環境を
ワンダフル21世紀

- ・最良の品質
- ・豊富な在庫
- ・万全なサービス



株式会社 櫻 井

<http://www.kk-sakurai.com/>

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-13-12
TEL 03-3803-3511
FAX 03-3807-8153

品名	単位	50	100	500	1,000
ベラー	1巻	50	100	500	1,000
ベラー	1巻	50	100	500	1,000
ベラー	1巻	50	100	500	1,000

WorkVision
Creating Value for The Future

お問い合わせ先
ビジネスソリューション営業第一部
営業担当：柿崎 真樹
TEL : 03-4233-0945 FAX : 03-5463-1138
*旧社名 東芝ソリューション販売株式会社
2019年7月1日より社名変更となりました。

システムは「所有」から「利用」へ！

リサイクルシステム
クラウド版リリース

シンプルで
即戦力！

セキュリティと
災害に強い！

サーバ購入
・管理不要！

関東商組 第63回通常総会

集荷の過当競争を避け 共存共栄の道を探っていこう



(株)紙業タイムス社編集協力

関東製紙原料直納商工組合は5月14日、東京・荒川区のアートホテル日暮里で第63回通常総会と懇親会を開催した。総会の司会進行を栗原護・副理事長が務め、開会の辞を近藤豊・副理事長が述べた後、藤川達郎・理事長が登壇して挨拶。

この後、直ちに議案審議に入り、(1)令和7年度事業報告、同決算関係書類承認および監査報告、(2)令和8年度事業計画案および同収支予算案などの議案を、新井重樹・副理事長、齋藤米蔵・副理事長、相田寛文・監事が説明、いずれも原案通り可決承認された。

このうち令和7年度の事業報告では各認定制度の期末時点における取得状況として、古紙商品化適格事業所が86社／262事業所、古紙リサイクルアドバイザーが97社／1,187名、古紙品質管理責任者が91社／771名に達していると報告された。

さらに任期満了に伴う役員改選では、藤川達郎・理事長（藤川紙業）が退任、後任の新理事長には上田晴健氏（三弘紙業）が選任された。

審議終了後、斎藤大介・副理事長が閉会の辞を述べて総会を終了。

なお組合の需給委員会では昨年11月～今年3月にマレーシア、ベトナム、韓国に調査団を派遣し、現地の古紙事情などについて視察とヒアリングを行ったが、総会終了後の時間を利用して、その報告会が行われた

報告会終了後は、会場を別室に移して懇親会が開催された。司会は引き続き栗原護・副理事長が担当し、開会の辞を齋藤米蔵・副理事長が述べた後、総会で新理事長に選出された上田晴健氏が挨拶。続いて来賓を代表して衆議院議員／資源リサイクル議員連盟・田中和徳会長、経済産業省製造産業局素材産業課・土屋博史課長、古紙再生促進センター関東地区委員会・諸隈令介委員長がそれぞれ祝辞を述べた。来賓の紹介が行われた後、全国製紙原料商工組合連合会・大久保信隆・理事長による乾杯の発声で自由歓談に移行、合間には松山千春のものまねカバーで知られる、こしはる氏の歌唱などで座が盛り上がる中、新井重樹・副理事長の中締めで閉会となった。

*

司会／栗原護 副理事長 本日は司会担当として皆様のご協力をいただきながら、最後まで楽しく和やかな懇親会にしていきたいと思うので、よろしくお願い申し上げます。



〔懇親会/開会の辞〕
齋藤米蔵 副理事長

開会の辞／齋藤米蔵 副理事長 本日は国会議員の先生方をはじめ多数のご来賓、また関連業界の皆様、そして多数の組合員の方々にご参加をいただき、本当にありがとうございます。先ほど第63回の総会において藤川達郎氏が理事長を退任され、後任の新理事長に上田晴健氏が就任されました。本日はその新体制の門出を祝い、楽しく飲んで食べていただけたらと思います。

就任挨拶「有益な情報を発信・提供していただける組合でありたい」／上田晴健 理事長 本日は資源リサイクル議員連盟の先生方、経済産業省の皆様、そして古紙再生促進センターの方々にもご参集をいただき、誠にありがとうございます。いま新体制という話がありましたが、実際のところ役員の構成が大きく変わったわけではありません。微力ながら全力を尽くしていく所存です。



〔懇親会/挨拶〕
上田晴健 理事長

さて古紙業界の現状ですが、昔は毎年のように取扱数量が増えていたのに、今は年々減ってきています。しかし限られた需要をめぐって過当競争を続けていれば、行き着く先は「皆で死んでいこう」という結論になってしまいます。

それを避けたいと思うならば、共存共栄の道を探っていくしかないでしょう。簡単なことではありませんが、対話を重ねながら、今できることを一つひとつしっかりやっていく。そして組合員の皆様にとって、有益な情報を発信・提供していける組合でありたいと願っています。

個人的にメンタルは強い方だと思っていたのですが、先日、生まれて初めて带状疱疹に罹りました。带状疱疹はストレスを抱えた人が罹患しやすい病気だそうで、私も人の子だったのだなと実感しました。だから皆さん、私には優しく接してもらわないといけません(笑)。どうか今後とも、よろしくお願い申し上げます。

来賓祝辞「党が循環経済行動計画を策定」／資源リサイクル推進議員連盟会長・田中和徳 衆議院議員 関東製紙原料直納商工組合の第



〔懇親会/来賓〕
田中和徳
衆議院議員

63回通常総会開催、誠にありがとうございます。皆様方の長年にわたる社会貢献に心から敬意を表す次第です。この素晴らしい懇親会のご盛会ぶりにも、お喜びを申し上げます。そして皆様方の地域社会への多大な貢献は言

わずもがなであります。そして新理事長に就任された上田さんには、どうか带状疱疹、気をつけていただきたいと思います。病気を乗り越えて、また新たな活躍をされること期待しております。

さて近年、世界的な資源需要の拡大に伴う制約や環境問題への対応に加え、中東地域をはじめとする国際情勢の不透明化を背景に、経済安全保障の重要性が高まっています。こうした認識のもと、自民党の「環境・温暖化対策調査会」「環境部会」「経済産業部会」は先に合同で、循環型経済への移行を加速させるための提言を取りまとめ、高市総理大臣および関係閣僚に申し

入れを行ったところです。また政府は4月末に第4回目となる循環経済に関する関係閣僚会議を開催。資源供給サプライチェーンの標準化や国際資源循環ネットワークの構築、地域循環主体の活用などを柱とする循環経済行動計画を策定したところです。

中東情勢に関連して現在、日本全体に必要な石油製品の量は確保されていることになっていますけれども、サプライチェーンのどこかで目詰まりが起きているようです。経済産業省をはじめ関係省庁が情報提供の窓口を設けて問題解決に日々努めていますので、皆さんも何か気づいたことがありましたら、ぜひ情報を提供していただき、ともに解決に向けて努力をしていきたいと思っています。今後とも皆様のご健勝とご活躍を祈念し、リサイクル議連を代表しての挨拶とさせていただきます。

来賓祝辞「経済安全保障の観点からしても古紙の安定供給は重要」／経済産業省製造産業局素材産業課・土屋博史 課長



〔懇親会/来賓〕
土屋博史・経産省
素材産業課長

紙原料直納商工組合通常総会後の懇親会にお招きをいただきまして誠にありがとうございます。今、リサイクル推進議連の田中会長が話された内容に尽きると思いますが、経済産業省としても循環型経済社会の実現に向け、

種々の取組みを推進しているところです。

また同じく田中会長が指摘されたように、中東情勢の不透明感は素材産業にも大きな影響を及ぼしています。原油・石油製品については日本全体として必要な量を確保していますけれども、現場の実感において偏りがある。これに対しては経済産業省のみならず国土交通省、農林水産省も含めて情報提供の窓口を設け、互いに勉強しながら目詰まり解消の取組みを日夜続

けているところです。

皆様には日頃より、古紙の安定供給を通じて豊かな国民生活と日本経済を支えたいと思っています。多くの資源が輸入に依存する中、古紙については皆様のお力により有事においても滞ることなく安定的に循環しているわけです。これは経済安全保障の観点からしても、大変重要なことと認識しています。経済産業省としても、そうした皆様の取組みを全力でサポートし産業振興に努めていく所存です。

来賓祝辞「持ち取り防止法の成立を今国会で」／資源リサイクル推進議員連盟副幹事長・葉梨康弘 衆議院議員

古紙の持ち取り防止法案については、すでに中身が出来上がっており、役所関係の調整も概ね終わっていますが、この間、中心的に動かれてきた事務局長の松原仁先生が先の選挙で落選されてしまったため、その辺りで若干滞ってるわけです。それでも私どもとしては、できれば今の特別国会会期中に目鼻を付けたいと考えています。ですから皆様方には、機会を設けてリサイクル議連のメンバーのところへ足繁く通い、背中を押していただきたい。この国会で何とか法律を成立させたいという決意を申し上げて、私からの挨拶と致します。

来賓祝辞「雑がみの掘り起こしに積極的に取り組む」／古紙再生促進センター関東地区委員会・諸隈令介委員長

本総会で組合理事長が交代されたと伺いました。藤川前理事長には在任中、組合運営にご尽力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。また上田新理事長はストレスで少し体調を崩されたと伺いましたが、これまでの豊富な経験と知見を生かし、力強いリーダーシップで関東商組をさらなる高みに導いていただけると確信しています。

皆様には日頃から当センターの事業運営に格別のご協力を賜り、またリサイクル啓発活動の一環としてセンターが行っている、学校への出前授業やリサイクルコンテストにも多大なご助



〔懇親会/来賓〕
葉梨康弘
衆議院議員



〔懇親会/来賓〕
諸隈令介・古紙センター
関東地区委員長



〔懇親会/来賓〕
松原 仁
前衆議院議員



〔懇親会/乾杯発声〕
大久保信隆
全原連理事長

力をいただき、誠にありがたく存じます。

残念ながら国内の古紙回収量は2014年以降25年まで、12年連続で前年を下回る状況が続いています。また日本製紙連合会による紙・板紙の内需見通しでは2026年が1,999万tと、現在のような形で見通しを公表するようになってから初めて2,000万tの大台を割り込むという厳しい数字が出ています。しかも、この見通しには直近の中東情勢によるナフサ不足の影響などが織り込まれておらず、場合によっては古紙の発生・回収が一段と厳しくなるかもしれません。

このような厳しい状況下で、古紙センターとしては需給両業界と力を合わせ雑がみの掘り起こしと回収増に積極的に取り組んでいきたいと思っていますので、引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

来賓祝辞「落選はしたけれど落胆はしない」
／資源リサイクル推進議員連盟事務局長・**松原仁 前衆議院議員** 先の総選挙で8万2,000の票をいただきながら落選した松原仁です。もちろん当選するつもりでやっております、落選をすることは全く想定していなかったのですが、残念ながらああいう結果になりました。こ



れはひとえに私の力不足によるものです。ただし何度も申し上げているように松原仁、落選はしたけれど落胆は致しません。次回の選挙で捲土重来を期して政治活動が続けて参ります。引き続き古紙業界の発展に向け注力していきますので、

ご支援のほどお願い申し上げます。

乾杯の発声「古紙業界はサーキュラーエコノミーの先人」／全国製紙原料商工組合連合会・大久保信隆 理事長 今年は全原連と関東商組が力を合わせ、雑がみの本格的な掘り起こしを進めるという元年になります。このタイミングで就任された上田理事長には先頭に立って頑張ってくださいとを期待したいです。また資源リサイクル議員連盟の田中会長には今後とも持ち去りの防止に向け、お力添えをいただきたいと思います。

われわれの祖先は江戸時代から江戸の街をきれいにする活動を続けてきました。100万都市の江戸は当時から世



界に誇れる清潔な街だったそうです。その伝統を引き継いで、今のわれわれも古紙回収の仕事をずっと続けてきました。その意味で古紙業界はサーキュラーエコノミーの先人だと自負しています。現状、ごみの中に埋もれている“雑が



懇親会で熱唱する
こしはる氏

みさま”を探し出して（回収して）、もう一度リサイクルする。そのためには日本の製紙業界が世界の中で生き残らなくてはならないです。われわれは街を美化しながら製紙会社に良質の原料を供給し、製紙会社はそれによって国際競争力を高める、そういう一体感をもって今後も進んでいきたいと思っています。

中締め／新井重樹 副理事長 中東情勢の緊迫化に伴い大手企業の間では昨今、サプライチェーンという言葉が頻繁に使われるようになりました。また本日、来賓の方々の挨拶ではサーキュラーエコノミー（循環型経済）の構築に言及する発言が多くありました。本来、循環には



〔懇親会/中締め〕
新井重樹 副理事長



〔懇親会/挨拶〕
藤川達郎 前理事長



上流も下流もなく、資源の浪費を最小限に抑えて環境負荷を低減していく取組みが求められています。それでは、大任を果たされた藤川前理事長も壇上にお呼びして中締めを行いたいと思います。



全原連 第49回通常総会



来年の50周年に向け、難局を
乗り切る方策を共に考えていこう
（今年は、雑がみ掘り起こし元年）

(株)紙業タイムス社編集協力

全国製紙原料商工組合連合会（全原連）は5月21日、北海道のホテルモントレエーデルホフ札幌で第49回通常総会と懇親会を開催した。

*

【総会】

北海道製紙原料直納商業組合・久保朋之理事の司会で進行。冒頭、同組合の長谷川裕一理事長が開会の辞を述べた後、大久保信隆理事長が次のように挨拶。

大久保信隆理事長 中東の紛争に伴うホルムズ海峡の封鎖で、日本は原油の安定調達に苦勞するようになり、コストも上昇しています。一方、われわれの事業規模が縮小傾向にある中、今後の古紙業界はどうしていけばいいのか。これから来年の50周年に向けて皆さんにさまざまな意見を寄せていただき、この難局を乗り切っていくための方策を共に考えていきたいと思



〔開会の辞〕北海道商組
長谷川裕一/理事長



〔事業報告〕北海道商組
東原正憲/理事



〔決算説明〕関東商組
齋藤米蔵/副理事長



〔閉会の辞〕北海道商組
横山教之/副理事長

ます。本日の総会が、そうした議論を前へ進めていくための契機になることを期待しています。

製紙メーカーさんや古紙センターさんの指導・協力も得ながら、全原連として一歩でも二歩でも前へ進んでいけるよう頑張っていきましょう。

*

続いて司会者より、全原連を構成する14組合のすべてが出席している旨の報告があり（出席13、委任状提出1）、総会の設立が確認された後、北海道商組の上川原副理事を議長に選出し議案の審議に入った。令和7年度の事業報告・決算・監査報告を東原正憲、齋藤米蔵、坂内大介の各氏が行い、令和8年度の事業計画案・収支予算案について田中奨、齋藤米蔵の両氏が説明、経費賦課および徴収方法決定、役員報酬決定などの議案を議長が提案し、いずれも滞りなく可決承認された。また任期満了に伴う役員改選では最初に理事65名と監事2名が選ばれ、別室にて開かれた第2回理事会で大久保理事長をはじめ副理事長8名、専務理事1名、監事2名が選出された。以上で全議案の審議を終え、北海道商組・横山教之副理事長が閉会の辞を述べて総会を終了。

【講演会】

講師として古紙再生促進センターの川上正智専務理事〈写真〉が登壇、「雑がみから始まる資源循環の新たな可能性 ―全原連50周年に向けた連携と挑戦―」と題し、約1時間にわたって熱弁を振るった。川上氏は冒頭、某女子校で話をした際のエピソードを紹介した。



「まず、女子生徒に『雑がみ』ってなんですかと聞かれました。地球温暖化問題に対する関心も高い学校だったのですが、雑がみと言われてもイメージが湧きませんと。そもそも『私たち、紙を使ってません』と言うわけです。でも『普通に生活していれば紙ごみは出てくるでしょ』と尋ねると、『通販のAmazonで頼んだときは紙ごみが出てくるけど、それ以外は出ませ



ん』と。教材類を除けば学業で紙を使うこともないようです。こういう若い世代がこれから、どんどん増えてきます。そういう人たちにいきなり『古紙とは…雑がみとは…』と言ったところで、全く話が噛み合いません。しかしながら温暖化対策も循環型社会の実現も、間違いなく彼らの意識と行動に掛かっているわけです」

川上氏はこのように述べ、啓発のための社会実験として「雑がみさまを探せ！」キャンペーンを始めたときの問題意識と背景を次のように説明した。

■従来型の「伝える」だけは限界

- * **情報断絶**：「伝えたつもり」と「伝わっていない」のギャップ
- * **行動心理**：面倒・誤解・習慣などによる無関心や誤処理
- * **関係不在**：市民・企業・行政が「自分ごと化」できる関係性が乏しい

■「今後の啓発」の3つの柱

- ① **共感…単なる正解・マニュアルではなく、生活者の経験や感情に寄り添った表現⇒ストーリーテリングやキャラクター・ナラティブ活用**。例：「雑がみさま」のような、感性和親しみのある導入口
- ② **行動…受け身で終わらせず、行動を後押しするデザイン⇒分別体験・ワークショップ、イベントでの紙回収参加など「自分が関われる」仕掛け**。例：拠点回収マップアプリ、家庭内チェックシート

- ③**連携**…一方向の広報啓発ではなく、共創型・対話型のフレームづくり⇒自治体・学校・企業との「ひらかれた連携プロジェクト」。例：学生との公認啓発アンバサダー制度、ブランドオーナー企業連携の雑がみ回収促進企画

■「関係性設計」の切り口

「対話の入口を」「社会参加の回路を」「無関心層への感性を」「行動の選択肢を」⇒「ひらく」ことを目指す。階層別では以下のような切り口が考えられる。

- ①子どもに：「気づく」ことが遊びになる仕掛けを
- ②学生に：「地域の未来」に自らを接続する入口を
- ③地域に：「紙ごみ」が「対話の起点」に変わる構造を
- ④企業に：「紙」という資源を「物語と共に届ける機会を
- ⑤自治体に：「ごみ政策」を「地域文化政策 へと深化させる対話を
- ⑥シニア世代に：「伝承者」「支える側」としての位置づけを
- ⑦外国人居住者に：「文化と言語の壁」を越える暮らし直結型の支援を

「啓発」とは社会と未来の関与する取り組みであり。紙リサイクルは単なる環境保護や分別行動ではない。人・地域・企業・行政が、持続可能な未来に向けて協調的に関与する社会行動であると考えて。われわれは「地域共創の繋ぎ手」として社会に根づかせる存在でありたい。

続いて川上氏は、古紙センターがこの半年ほどの間に進めてきた地方自治体などとの連携活動について紹介した。

- ◆**札幌市**…市が培ってきた市民協働のごみ減量の基盤の上に、紙リサイクルを軸とした新たな地域循環共生社会作りの取り組みを展開するため、古紙センターとの啓発連携に向けた覚え書きを締結。

- ◆**仙台市**…市の先進的な資源循環の基盤に古紙センターの試みを組み込むべく提案中。市の既存ネットワークを活用した啓発により、市民の行動変容と可燃ごみ削減を図る。

- ◆**名古屋市**…同市と中部商組、古紙センターは、紙製容器包装・雑がみの分別および回収促進に向けた啓発協定を締結。市民・事業者・行政・地域組合が連携し、可燃ごみに残る紙資源の掘り起こしや行動変容を進めていく。地域特性を踏まえた啓発や情報発信を通じ、資源循環とごみ減量の両立を目指す新たな地域連携モデルを展開する。

- ◆**東京 23 区**…都の最終処分場の制約と可燃ごみに占める紙類の削減という課題に直面。事業系古紙の搬入規制に向けて検討が進むのではと見られる一方、23 区の足並みが課題となる、家庭系古紙への取組みが焦点。23 区における、ごみ減量・資源循環の課題について、各区の特性を踏まえた整理を行い、地域組合の理解・協力のもと、行政との意見交換や啓発活動を段階的に進める。

- ◆**大丸松坂屋（Jフロントリテイリング）**…大丸松坂屋や日本製紙連合会との連携を通じ、事業系・商業施設から発生する紙ごみ削減や資源循環を推進。流通・製紙・静脈の各分野をつなぎ、市民啓発も含めた新たな連携モデルを模索する。

- ◆**新潟薬科大学ほか**…新潟薬科大学をはじめ、北海道大学、東北福祉大学、千葉大学、跡見学園女子大学、近畿大学、金沢星稜大学などとの意見交換、連携づくりも進めていく。紙リサイクルや行動変容を、単なる回収・処理問題ではなく、地域社会、教育、消費行動、コミュニケーションなど多面的視点から捉え直し、若い世代の知見や発想を地域循環共生社会づくりへ活かしていく。

- ◆**こどもエコクラブ**…全国 2,385 クラブ、約 10 万人の子ども達が参加する「こどもエコクラブ」と連携し、「雑がみさまを探せ!」を通じた新たな資源循環の取り組みを進めている。子ども達が家庭で雑がみを探し、分別し、地域回収へつなげる小さな行動が家族や地域の意識を変え、ごみ減量や地域循環共生社会づくりへ広がっていくことを目指している。

■キャラクター×行動変容による啓発高度化…

「雑がみさま」キャラクターを通じ、啓発のハードルを下げつつ、リサイクルを市民にとって身近な出来事として浸透させる。単なる集客型活用にとどまらず、その後の行動変容をデジタルで追跡可視化し、啓発効果検証と各地への横展開を目指す。「アナログ・デジタル」両面から新たな啓発モデルの構築を。



川上氏はこの後、現在焼却処理されている古紙 400 万 t/ 年のうち再資源化が困難なのは衛生用紙などの 100 万 t 程度で、分別の改善－行動変動によって 170 万 t は古紙として回収が可能であり、難処理紙などに代表される残りの 130 万 t についても技術的課題の解決を図れば再利用の道が拓けると指摘。「焼却＝コスト」と捉えるのではなく、「価値を活かす取組み」が必要と訴えた。

川上氏は最後に「自分自身への問いかけも込めて」以下のような問題提起を行い、講演を終えた。

- * 「分かっている、人はなかなか動かない」⇒だからこそ、“正しさ”だけではなく、“動きやすさ”も大切になる。
- * 「やってください」ではなく⇒“ついやってしまう”仕掛けをどう作るか。
- * 新しいことを増やすのではなく⇒“伝え方”や“関わり方”を少し変えてみる。
- * 「特別なことは、なかなか広がらない」⇒だからこそ、“無理なく続けられる形”を考えたい。
- * 自治体、企業、市民、地域の組合・団体⇒それぞれが無理なく関われる形を探していくことが重要。

* このままでも回ってはいく⇒しかし、その先をどう描くかが問われている。

* 「地域との接点は、自然には増えない」⇒だからこそ、“関わりしろ”をひらく工夫が必要になる。

* 50 年続いてきたからこそ⇒次の 50 年に向けた“切り替え”を考える時期に来ている。

“雑がみ”は小さなテーマに見える⇒しかし、その向き合い方に、これからの循環のヒントがある。

* 「啓発は、伝えるだけでは届かない」⇒だからこそ、“自分ごと化”への工夫が重要になる。

【懇親会】

講演会終了後に休憩を挟み、会場を同ホテル別室に移して夕刻 17 時より始まった懇親会は、北海道商組・吉田憲昭理事の司会で進行。同・長谷川裕一理事長が歓迎の挨拶を述べた後、大久保信隆理事長が挨拶。

続いて来賓を代表して経産省北海道経済産業局の浦田秀行局長、札幌市の天野周治副市長、王子マテリアの小林進執行役員釧路工場長が登壇し、それぞれ挨拶。司会者による来賓紹介に続いて、古紙センターの川上専務理事が乾杯の発声を行い、祝宴に移行。和やかな歓談が続く中、関東製紙原料直納商工組合・藤川達郎前理事長の中締めで有意義な一日を終えた。

*

【歓迎の挨拶】 四季がはっきりしている札幌へようこそ／北海道製紙原料直納商業組合・長谷川裕一 理事長

私事ですが、埼玉から札幌へ移住して 30 年が経ちました。もう慣れましたが、やはり関東とは全く違うことがあります。まず一つは四季がはっきりしていて、



冬はしんと雪が降り、春になると雪解け、川のせせらぎ、新緑、やがて一斉に花が咲き誇ります。そして最近は暑い夏も経験できるとい



う、非常に良い場所です。

皆さんはこの後、夜のススキノにも繰り出されるかもしれませんが、少し説明しておくとしてネット情報によれば飲食店が3,500～4,000軒あるようです。仮に3,500軒として1日3軒ずつ飲食に通ったとしても、制覇するまでに3年と2ヵ月かかる計算です。ぜひ頑張って挑戦していただければと思います。

札幌で、お薦めの食べ物を三つ紹介します。一つ目は、まずジンギスカン。これ美味しいので、ぜひ食べてください。二つ目はラーメンで、こちらもぜひ賞味してください。それと三つ目がスープカレー、これも何百軒と専門店があります。ですからジンギスカン、ラーメン、スープカレーとコンプリートして、たくさんお金を落として帰っていただければと思います。

【理事長挨拶】 来年の50周年、さらにその先の100年も見据えて

／大久保信隆理事長

北海道商組の長谷川理事長に、四季のはっきりした札幌の良さを紹介していただきました。また本日はご多用の中、北海道経済産業局の浦田局長、札幌市の天野副市長、王子マテリアの小林執行役員をお招きし、ともに宴席をご一緒できますことを嬉しく思います。また古紙センターの川上専務には、先ほどまで中身の濃い有意義な講演をしていただきました。



全原連は来年、設立50周年の節目を迎えますが、今日まで無事に歩いてこられたのも、本日まで参集いただいた来賓の方々をはじめとする皆様のお力添え、そして組合員1人ひとりの努力の賜物と改めて感謝申し上げます。紙のリサイクルは、われわれが古紙を回収するところから始まります。サーキュラーエコノミーの出発点に、われわれは居るわけです。本日の総会・懇親会を機に来年の50周年、さらその先の100年も見据え、組合員が手を携えて頑張っていきたいと思います。

【来賓挨拶】 産業やエネルギー面で前向きな動きが相次ぐ北海道

／経産省北海道経済産業局・浦田秀行局長

近年、古紙業界を取り巻く環境は大きく変化していると伺っています。デジタル化の進展などを背景とした新聞・雑誌古紙の発生量減少、一方で燃料費や物流コスト上昇への対応など現場における課題は一層複雑化していると理解しています。こうした中であって全原連の皆様が古紙の安定供給はもとより、品質管理の向上、関係団体や自治体との連携などを通じて健全なリサイクルシステムの維持発展に取り組まれていることに深く敬意を表する次第です。



昨今の中東情勢に伴って燃料費が高騰しており、また一部では供給の偏りとか目詰まりといった問題も起きています。政府として、そうしたご指摘に丁寧に対応していくため、専門の情報提供窓口を設けているので、問題があれば忌憚なくご相談いただきたい。

また燃料調達コストの上昇などによる資金繰りの問題についても、特別相談窓口を金融機関などに設置しており。各種の相談に対応させていただいているところです。そのほか企業の生産性向上を支援するため、今年度から全国各地に生産性向上センターを新設しました。専門家

が無料で何度でも工場を訪問しアドバイスさせていただくので、こうした機関もぜひ活用していただければと思います。

最後になりますが、せっかく全国各地からお越しにいただいているので、北海道のことを少し宣伝させていただければと思います。北海道では最近、産業やエネルギーの面で前向きな動きが相次いでいます。まず次世代半導体工場の建設が進んでおり、昨年の7月には試作品の公開も行われ、顧客開拓も順調に進んでいると聞いています。それからロケット開発、これにつきましても民間による開発が行われています。

さらに再生可能エネルギーは、北海道のポテンシャルが全国No.1で、とりわけ風力に関しては全国比50%のシェアがあります。また洋上風力の開発に向けた動きも加速しているところです。その洋上風力設備に部品を供給するサプライチェーンも室蘭などに形成されています。そのために必要なインフラ整備では人材の確保、教育機関の改革などと併せて進めていくよう、北海道経済産業局を中心に取り組んでいるところです。

北海道のGDPは現在、全国の4%程度ですが、私は最近、個人的には将来、日本全体の半分近くになるのではないかと考えています。先ほど紹介した半導体工場のほか、民間宇宙開発の最前線が話題の町・大樹町にあります。民間に開放された宇宙港は現在、全国で和歌山と北海道の2ヵ所にしかありません。これらの施設が将来、北海道に莫大なGDPをもたらすのは間違いありません。ですから皆様も今後、北海道での事業を選択肢の1つに加えていただいても良いのではないかと思います。

【来賓挨拶】 雑がみのリサイクル促進で古紙センターと連携／札幌市・天野周治副市長
札幌市はごみの一番少ない町を目指し、ごみの減量ーリサイクル促進の取組みを市民や事業者の皆様へ訴えてきています。古紙についても、雑がみの分別収集や集団回収に対する支援などで通じてリサイクルに努めているところです。

しかし、それでもなお焼却処理によって年間約13,000tもの雑がみが廃棄されており、この状況は重要な課題の1つと考えています。

そうした中、札幌市は今年4月、古紙センター北海道地区委員会との間で雑がみのリサイクル促進に向けた連携事業の実施で覚え書きを締結しました。この連携を通じて市民の分別意識をさらに高め、雑がみのリサイクルを加速させていきたいと考えています。紙のリサイクルを支える皆様におかれましては今後もさまざまな形でお力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

【来賓挨拶】／王子マテリア・小林進 執行役員 釧路工場長 日頃

より製紙業の発展のみならず、循環型共生社会の実現に多大な尽力をされておられる皆様方に、深く感謝を申し上げますとともに敬意を表する次第です。近年、

地球環境の保全や環境負荷の低減が社会的に強く求められる中、全原連の皆様は古紙の回収と再資源化を通じて持続可能な社会を支える重要な役割を担っています。日本の古紙回収率は81.3%、利用率は66.7%で、ともに世界でも稀に見る高い数値を誇ります。さらに余剰分を海外へも輸出しており、これは日本だけでなく、世界の資源リサイクルに貢献しているといっても過言ではありません。

私は2年前まで、マレーシアで段ボール原紙製造の仕事に携わっていました。マレーシアでは、日本のように古紙を循環させるシステムがありません。では、どうやって古紙を回収するかというと、工業団地に大きな集積場があり、そこに鉄くず、廃プラスチック、紙ごみと、す





〔懇親会〕古紙センター川上専務理事の発声で乾杯



定刻まで和やかな歓談が続いた懇親会

すべての廃棄物が集められます。そこから最初に鉄くずが回収され、次にプラが回収され。最後に古紙業者が紙ごみを回収します。だから最後に残ったものは、ごみが半分で紙が半分という感じですね。そういうものを原料として紙を抄くと、私が在籍していた当方で工場の歩留りは70%くらいでした。日本は90%ほどの歩留りがあります。その意味で良質の古紙を循環させるシステムこそが、日本の製紙産業の強みだと実感しています。

一方、中東における地政学リスクを反映して、昨今の日本ではエネルギー価格が高騰、また人手不足、高齢化といった問題も山積しています。しかし、われわれ日本人は、これまでも幾多の困難をキメ細かな対応で乗り越えてきたし、今

度の問題も必ず克服できるものと確信しています。

〔中締め〕／関東製紙原料直納商工組合・藤川達郎前理事長

長谷川理事長をはじめ北海道商組の皆様には、盛大な会議と懇親会の場を設営していただき、誠にありがとうございます。短い期間ではありましたが、今総会をもちまして副理事長職を退任させていただきました。今後は理事のひとりとして大久保理事長をはじめ執行部の皆様をサポートするつもりで頑張っていきたいと思います。



懇親会で壇上の役員理事を紹介する大久保理事長



日時：令和8年4月26日(日)16時～
会場：鬼怒川グランドホテル夢の季 会議室
出席：会員30社中 出席18社
報告者：(株)ナコジ 川嶋 秀明

去る4月26日 鬼怒川グランドホテル夢の季にて、三紙会第42期定時総会が開催された。

富澤副会長の開会の言葉、平松会長の挨拶の後、引き続き(株)平松商店 平松邦明氏が満場一致で議長として選出され、議長の挨拶の後、議案の審議に入った。

第一号議案 各委員会経過報告

各委員会より令和7年度の活動報告がされ、満場一致で承認された。

第二号議案 会計報告

会計より令和7年度の収支決算報告、小池監事より監査報告がされ、満場一致で承認された。

第三号議案 各委員会次年度計画案

各委員会より令和8年度の活動計画が発表され、満場一致で承認された。

第四号議案 次年度収支予算案

会計より次年度の予算案が発表され、満場一致で承認された。

第五号議案 役員改選

議長より、役員改選に伴う議案上程がされ、会長に高橋徳行氏が新任、以下の通り新役員が満場一致で承認された。

〔新役員〕

会長・会計	高橋 徳行
副会長	富澤 進一
	持永 毅
研究委員長	斎藤 元司
財務委員長	濃田 博康
広報委員長	増田 悦宏
業務委員長	宮下 和丈
監事	平松 邦明
	井出 一之

上記の通り、全ての議案審議が終了し、議長退任の挨拶、高橋副会長の閉会の言葉をもって滞りなく総会は終了した。

総会終了後、会場を移動して懇親会を開催。(株)ナコジ 川嶋氏、(株)丸興佐野錦一商店 相田氏の司会のもと、高橋新会長の挨拶から持永副

会長の乾杯の発声で幕が開き、富澤副会長の中締めまで、出席者一同、楽しい時間を過ごした。

翌 27 日は、懇親ゴルフが日光カントリー倶楽

部にて開催され、雨が降る悪天候の中、白熱したプレーが繰り広げられる中、(株)斎藤英次商店 斎藤元司氏が優勝を飾りました。



【総会 開会の言葉】富澤副会長



【総会 記念品授与】平松会長の退任にあたり記念品授与



【総会 会長挨拶】平松会長



【懇親会 挨拶】高橋新会長

新聞雑誌選別、さらに革新。

紐切装置付選別コンベヤーライン

ヤードスペースに合わせ、自由にレイアウト。

営業品目

- 各種破袋装置
- 古紙梱包機投入用コンベヤー
- 空カン・空ビン選別コンベヤーライン
- 各種シュレッダー投入用コンベヤー
- 再生資源産業用各種コンベヤー
- 各種省力機械設計・制作



株式会社 拓己技研

〒444-0937 愛知県岡崎市島坂町字川田5番地3
TEL (0564) 64-3692 FAX (0564) 64-3693

デジタルロードセル式トラックスケール

高精度・低価格・短納期 5t～100t 各種計量管理システム

鎌長製衡株式会社

<http://www.kamacho.co.jp>

本社・工場	TEL(087)845-1111(代)	FAX(087)845-7442
東京支店	TEL(03)3243-2080(代)	FAX(03)3243-2081
大阪支店	TEL(06)6339-0131(代)	FAX(06)6339-0139
名古屋支店	TEL(052)586-1451(代)	FAX(052)586-1467
九州支店	TEL(092)281-5328(代)	FAX(092)281-3822
中四国支店	TEL(087)845-1140(代)	FAX(087)845-7442

委員会 トピックス

需 給 委 員 会

韓国 視察レポート



訪問期間

2026年3月4日(水)～3月6日(金)

訪問メンバー

団長：畑委員長(株式会社山室)

メンバー：山室委員(株式会社山博)

井上委員代理(王子齋藤紙業株式会社)

アテンド：李社長(株式会社リニア)

○韓国製紙産業の現状

紙・板紙生産量：約10,670万t

内訳 紙約3,560万t、板紙
約7,110万t(2023年)

新聞用紙の生産量は韓国全体でピーク時約
150万tだったが2025年は約30万tに減ってお
り今年は更に10%減の27万t見込み

新聞用紙メーカーシェア：チョンジュペーパー
50%、デハンペーパー 25%、ペーパーコリア 25%
古紙リサイクル率：約85%

2025年日本への古紙輸出：22t

2025年日本からの古紙輸出：204,704t(シェ
ア11% 第3位)

銘柄別輸出シェア：新聞73%、雑誌19%、段
ボール5%

○訪問先の状況

1. PAPER COREA (Natura Paper)

面談者：Donghwa, Lee (Team Manager),
Chris LEE (Manager)

①工場概要

設立：2017年6月(全州製紙(チョンジュペー
パー)の清州(チョンジュ)工場を買収して設立)

生産能力：180,000t/年(マシン1台)

生産品目：新聞用紙、軽量中芯

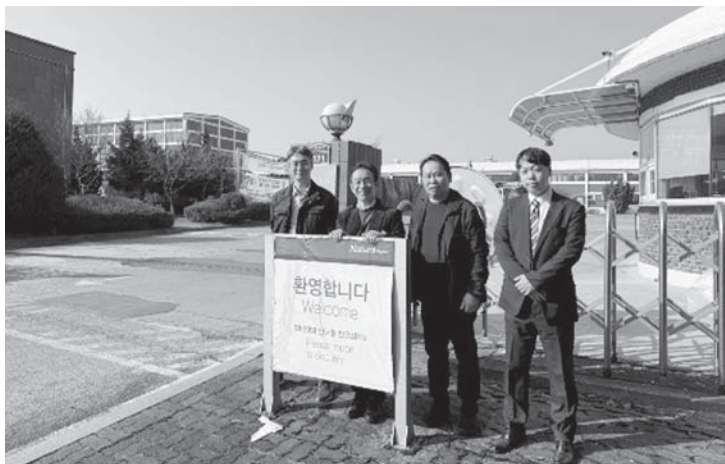
新聞古紙使用量：9,000～10,000t/月

(KONP6,000～8,000t) パルプ使用量：0t

②状況

軽量中芯と新聞を半分程度の生産となってい
るが最近はインド向け出荷が増えてきたこと
により新聞7割、中芯3割程度の生産となってい
る。

主には韓国国内の新聞古紙を主力で購入して
おり月間6,000t程度購入し、不足分を日本・
アメリカから購入する。ただし1・2月は韓国国
内の発生月で8,000t入荷があったため、輸入
量を減らして調整している。



日本の新聞については坪量が42-43 gとグローバルスタンダードの45 gと比べて薄く、脱墨するのが難しいため一定以上の量使うことができない。また韓国新聞社はグローバルスタンダードより重い46-47 gを求めてくることが多い。

流れており、古紙として入荷されていないこと。KONP と KOMG の区別が非常に難しく見ても分からないこと。

他工場でワンプの間紙で新聞古紙を月 300 t 程度使っていたが最近では化学会社の景気が悪く購入が落ちており、生産していない。

③懸念点

韓国国内の残紙が梱包用でパキスタンなどに



AONP



AONP プレミアム



KONP



KOMG



KMIX



ホワイト

2. Kyungin Recycling

面談者：Doo Youl, Bae (CEO),
jun Young, Kim (Sales Manager)

①概要

創業：1990 年（2002 年会社設立）

取扱品目：段ボール、残紙・新聞・雑誌（600 t / 月）、模造（ホワイト）、PP 台紙

営業日：365 日

従業員：14 人

100 ～ 120 馬力ベラー機：2 台ともに韓国製
で 4,000 ～ 5,000 万円程度。

アメリカ、ヨーロッパ製は 1 億円する。輸入

する人はほとんどいない。

取扱量：12,000 t 内 5,000 t 輸出

仕入先：持込先、引取ともに対応

仕入価格：持込業者は、ほぼ動きがなく変わらない。引取先も有価で買い取り。

販売先：段ボール（A 級）100% 輸出、国内に時々入れることもある。

他の品種は国内がメイン。ただし輸出価格のほうが高ければ輸出を優先する。

古紙価格（国内）

KONP：着 24-25 円 /kg

KOMG：着 24-25 円 /kg



KMIX：着 22-23 円 /kg
KOCC (A 級)：着 14-15 円 /kg
KOCC (B 級)：着 13-13.50 円 /kg
ホワイト：着 45 円 /kg

※ B 級品は集合住宅から出てきたもの。

KOCC については、段ボールが薄く海外品と比べると評価はよくない。

輸出

KOCC (A 級)：店頭 15-16 円程度
残紙：フィリピン・パキスタン向けに輸出しているが、利益が \$5/kg 程度で利益が薄い。

②選別・品質について

入荷時点で選別された状態での入荷が多く、ヤードでの選別は、人員等の関係もあり難しい。韓国はタテバに集めるが屋根がなく、水分管理が難しいことがあり、国内も海外にも水分率 15%で管理すると伝えている。

100 万円かけて水分測定器を購入し、きちんと管理しているが国内メーカーは 20～35%水分クレームをかけてくるケースがある。

輸出では海外販売先との信用度を高めるために送るレポートに URL を付けて水分等出荷前の写真などを一覧にして確認できるようにしており、おかしい所があれば連絡して欲しいと伝えている。販売先の反応としては、すごく良いと言われているが、クレームつけられるときはつけられている。

③販売先の選定理由

韓国メーカーは古紙を輸入しており、段ボールは工場着 20 円 /kg で買っているのではないかと考えているが、国内品との価格差が大きく信用がない。あまりにも国内価格を抑えすぎるので仕入価格と販売価格の差がないので設備投資などをおこなう余力がない。

国内メーカーは価格の上げ下げが非常に激しく、難しい所があり日本のように助け合うということがあまりない。そのため価格重視となっ

ている。輸出は為替リスクも大きい自分たちで価格を決められるため段ボールは輸出をメインとしている。

④同業他社との状況について

古紙組合は全国単位で 100 数社加盟しているものがある。各地域にも個別に組合があるが、そこまで大きい役割はなく、組合に参加するのは主に人口の 40～50%が住んでいる首都圏（ソウル・キョンギド）の間屋となっている。

2 代目社長が増えてきているため、昨年集まりを立ち上げて、メーカーに対しての交渉方法や人口減少などのテーマなどを話し合うようにしている。

組合で昨年調べたところ韓国の古紙全体量は日本のように大きく減っていない。

国内の段ボールは余剰する構造となっている。現在段ボール全体のうち輸出量は 5～6%だが、各社で品質・力を合わせて 10%まで増やして、余剰しないようにしてメーカーと話し合いをしようという取り組みを行っている。

組合ベースで日本側の組合と是非交流会をしていきたい。

⑤懸念点

回収の運転手が不足している。3 か月以上募集をかけているが、日本同様にくるのは年配の方が多い。

運転手の給料は 1 か月 50 万円程度で募集している。

総合リサイクルをおこなっている間屋はファンドの買取が増加しており、特にスウェーデンの EQT が多く買い取っている。初の投資が韓国の数社を集めて 1,000 億円と大きくニュースになった。

韓国の間屋は売上 30～40 億円、大きいと言っても 50 億円を超えるところが無く、お金でくると売ってしまうことが多い。

ファンドは業界としてどうかという目線、業界どうのこうのは考えず、会社の価値を上げて販

売することのみを考えるのでよくないと思っている。ただ購入から3年程度たったが未だに主だった動きはなく、おそらく紙については興味が薄く、プラスチックがメインテーマだとみている。水分問題については、製紙連合会や古紙問屋



バラ荷下ろし

側でも、解決していこうよという動きもあったがなかなか進展はない。

輸出はしたいからしているわけではなく、国内メーカー側が歩み寄り一緒に共栄していくことを考えて欲しい。



プレス品荷下ろし



B 級品



水分測定

3. ASIA PAPER (Sihwa Factory)

面談者：Park, Jongll (General Manager),
Seo, Mi Ran (Manager)

①工場概要

設立：1997年5月

生産品目：ライナー、クラフト、石膏ボード

生産量：374,000 t / 年

マシン：1台



販売先：国内 80%、輸出 20%

使用古紙：OCC のみ

現在在庫：15,000 t 程度 (KOCC 7,000 t 輸入品
8,000 t)

②状況

石膏ボードの生産には JOCC が原料として丁度合っているが具体的な話は機密情報の為難しい。

10 年前から日本品を買ったことがあるが定期的に購入を始めたのは 2 年前となっており、現在は JOCC を 3,000 ～ 4,000 t / 月購入している。日本はどの港・問屋から購入しても品質が一定でルールが守られているのが評価している。韓国の場合と同じ地域でもいろんな問屋がいる。数量を多くやる場合、品質を均一に守られていないケースが見受けられる。

韓国内の製紙連合会と全原連で協議をして製紙連合会側から品質を安定にできないか話をしているが、均一にならないことが続いている。日本も昔は統一できていなかったはずだけどどうやって統一しているのか、理由を知りたい。

J-BRAND や適格事業所登録等様々な取り組みを行っている旨を回答したところ、現在政府とシステムについて話をしているため参考にしたということでした。

③古紙問屋について

古紙問屋は 1 ヤードの取扱量も日本と比べ多いため売買差 5 ～ 6 円程度あれば利益が出ると考えている。

韓国の主な古紙発生場所はアパート（タワーマンション群）で管理業者が 1 年間の入札方式が主流となっている、古紙問屋は高値落札をしているため、利益を出すために水をかけてメーカーに納入している認識を持っている。

全てのメーカーで水分測定器が設置されており、計測して問屋と共有している。

④他工場について

セジエンにも工場があり白板の為にパルプを使っているが、輸入は段ボール以外していない。今販売量が落ちている状態でもストップをせず継続購入しているので、状況がよくなればもう少し購入量を増やしていきたい。



4. YUCHANG TRADING

面談者：Jong sang Yu (CEO)

①概要

取扱品目：古着・靴・生地・番線

営業日：365 日

取扱量：40～50 t / 日 (韓国国内では3位以内程度)

仕入先：国内 60%、輸入 40%

仕入価格：国内 27～33 円 / kg、輸入 30 円 / kg

販売先：自社古着店 (一番良い物)、残りを海外の
タイ、フィリピン、インド、アフリカ、台湾
選別：メインで2回おこなっており品種は250
種類に分けている。

選別従業員：80 人 (給料1人当たり25万 / 月)

②状況

30年間この仕事を続けてきたが、今は非常に
状況が悪い。過去の経験からいうとインドネシ
アの政権が変わらないと受入れ再開とならず3年
間程度悪い状況は続くのではないかとみている。

輸出販売については、日本品と韓国品を混ぜ
て出荷している。輸出する際にスーツから子供服
まで様々な品質・商品が入っていると喜ばれる。

元々は日本のリターン品のみを購入していた
が4年前から一般品も購入し始めた。

2～3年で500コンテナほど購入し選別してい
るが日本の古着マーケットが大きくなっている
ことで良い物は日本で選別され、海外に出てく
るものが3年前と比べて悪いものが多くなっ
ている。

古紙業者からの発生物は手をかけていないも
のが多いので購入メリットがあるが最近は品質
と価格が折り合わないことが多い、横浜品と言
われて購入したが実際は北関東のものなど複数
回取引をしていると品質悪化していき長続きし
ていない。品質が一定の業者と継続して付き
合っていきたい。

また古紙専用のプレス機は荷崩れしやすく、作
業員もプレス単位で割り振るためサイズにばら
つきやすい古紙プレスだともめるケースがある
のでウエス専用のプレス機品が購入希望となる。

③韓国と日本の比較

日本ウエス会社：選別しないで輸出する会社が
多い。ボロの買取価格が韓国
の2倍。

韓国ウエス会社：国内で選別することが大きな
違い。輸入して選別して販売
は利益が薄い。

日本側：個人売買や店舗での回収 (クーポン)、



古着販売に変化してきている。

韓国側：以前より個人売買、古着販売は好調。

中古販売が難しいもの（ゴミ）

日本品：15～18%

韓国品：12%程度

④その他

番線についても自社で製造している。主な販売先は韓国国内の古紙業者だが、日本へも過去に販売したことがある。輸入でどの程度になるか見積を出して欲しいと伝えている。



5. 総括

今回の韓国視察を通じて、デジタル化の進展等を背景に、韓国においても日本と同様、紙需要が中長期的に構造的縮小局面にあることを改めて確認した。一方で、各製紙メーカーは国際市況や需給環境の変化に応じ、古紙を柔軟に輸

入しながら安定操業を維持しようとする姿勢を示しており、今後も一定の輸入需要が継続する可能性がうかがえました。

今後も、韓国を含む諸外国の動向を継続的に把握するとともに、業界団体間での情報共有や交流を進めていくことが重要であると感じました。



東京都西支部

東京都西支部懇親コンペ

報告者：三弘紙業株式会社 吉住英樹

4月30日 東京都西支部懇親コンペは、寒空に小雨が混じる天気のもと、メイプルポイントゴルフクラブ（山梨県上野原市）に3組10名が集い、開催されました。

途中から晴れ間も広がり、まるで天気が我々の気合いに根負けしたかのような素晴らしいコンディションへと変わり、コースの懐の深さを存分に味わい、ナイスショットから「これは天気のせいにしておこう」という珍プレーまでの一打一打に一喜一憂しながらコンペは大いに盛り上がり、(株)工藤商店 島田さんの優勝で幕を閉じました。

今回参加させて頂き、有難うございました。次回も皆さまと一緒できることを楽しみにしております。



セーフティーボイス

SAFETY VOICE

いつも安全活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

先日の「セーフティー+活動」でもお伝えしましたが、現場で災害やヒヤリとした事例が発生しても、報告書のご協力が少ない状況が続いております。

私たちは、同じ事故を二度と起こさないために、現場で起きた事実を共有したいと考えています。「小さな気づき」や「少し言いづらい内容」でも構いません。皆さまからいただく一つひとつの声が、安全向上につながる大切なヒントになります。

以下の事例があれば、ぜひお寄せください

- 実際の事故・災害の報告
- 一歩間違えれば危なかった「ヒヤリ・ハット」事例
- 現場の設備や手順の是正内容、お気づきの点

【事故・災害報告アンケート】 所要時間：約5分程度

回答方法：<https://forms.gle/kiyx2eNquusjJwvT9>

備考：いただいた内容は、本調査の目的以外には使用いたしません。



皆さまの率直な声が、安心して働ける職場づくりにつながります。積極的な提出をお願いいたします。

過去事例でも問題ございませんので入力をお願いいたします。

★今年の夏も万全な熱中症対策を！

今年の夏も気温上昇が予想され、熱中症対策の重要性がますます高まっています。日頃からの「水分・塩分補給」「無理をしない」「冷却グッズの活用」といった基本的な行動が、自分自身の体調を守る鍵です。

現場で働く皆さま一人ひとりの意識と行動が、職場全体の安全を支える大きな力になります。先日配布した「昨年のアンケート結果」もぜひ参考にして、対策を徹底してください。

アンケートへのご協力もお願いします

次回のセーフティーボイスでは、近年トラブルが増えている「リチウムイオン電池」の取り扱いについて特集します。今後の職場環境づくりにしっかりと活かしてまいります。これからも皆さまの声を伺いながら、より安全で働きやすい職場を進めてまいりますので、引き続きアンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

むさし野紙業株式会社
代表取締役
山田 俊介



関東製紙原料直納商工組合の皆様、いつも大変お世話になっております。2026年4月1日付で、むさし野紙業株式会社の代表取締役に就任いたしました山田俊介と申します。

むさし野紙業は、国際紙パルプ商事の100%子会社として埼玉県川越市に本社を構えております。2026年4月にはグリーン山愛と合併し、現在は埼玉県3拠点、東京都4拠点、神奈川県2拠点の合計9拠点で営業活動を行っております。

私は1999年に国際紙パルプ商事に入社し、印刷用紙の仕入業務に従事しておりました。学生時代から麻雀が好きで、入社後も製紙メーカーや業界関係者の方々と頻繁に麻雀をご一緒させていただきました。卓を囲みながら、紙の専門知識から時にはそれ以外の話まで、多くのことを教えていただいたと感じております。

仕入れを5年担当したのち、新規事業部門に配属となりました。同部門では女性誌の創刊プロジェクトに携わり、印刷用紙の手配に加え、編集部、印刷会社、取次会社、広告代理店など、多方面との調整を担当いたしました。残念ながら、同誌は販売が振るわず3号で休刊となり、事業の難しさを痛感いたしました。さらに、プロジェクト内での不正が発覚し、実務面だけでなく人としても多くの学びを得る経験となりました。

ミシュランガイド日本版の創刊プロジェクトにも参画いたしました。フランス本社へのプレゼン資料作成や、印刷会社と連携し用紙選定などに携わり、無事創刊に至りました。発売初日深夜0時の販売に立ち会い、達成感とともに「本はこうして世に出るのだ」と実感したことを今

新社長 紹介



でも覚えております。ミシュランガイドは好調なスタートを切り、全国へと展開され、前回の悔しさを少しだけ晴らすことができました。

また、新規事業としてポイント古紙回収サービス「ecommo」の立ち上げにも携わりました。現在では全国420店舗に展開されており（大阪・京都を除く）、あと一步で全国制覇というところで止まってしまったのは個人的な心残りではありますが、多くのお客様にご利用いただける仕組みとなりました。

その後は、人事部に配属となりました。着任して間もなくコロナ禍を迎え、テレワーク制度や出社制限などの対応に追われる日々となりましたが、全社で知恵を出し合いながら乗り越えてまいりました。また、新卒採用ではKPP野球部強化のため野球経験者を積極的に採用し、その結果、紙商大会で2連覇を達成することができました。人事部で4年間勤務した後、製紙原料営業本部（現・原燃料本部）に配属となり、むさし野紙業およびグリーンリメイクにおいて非常勤取締役を務め、現在に至っております。

現在、古紙の発生減や人材不足、設備の老朽化など課題は多いものの、本業界は社会に不可欠な存在であると考えております。皆様と率直に意見交換を行い、知恵を出し合いながら乗り越えてまいりたいと存じます。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



株式会社 高岡
代表取締役
高岡 和佐



関東製紙原料直納商工組合の皆様、たいへんお世話になっております。株式会社高岡の高岡和佐と申します。

本年1月に先代代表の父・高岡和敏が急逝した折には、多くの方にご会葬賜り、生前のご厚情に対し誌面をお借りして深く御礼申し上げます。

この度、長男の私が代表取締役を引き継ぐこととなりました。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

私が就職活動を迎えた頃は、まさに「就職氷河期」の真っ只中でした。優秀な友人たちが苦戦する中、私は高校生の頃から長期休暇に家業を手伝っていたこともあり、自然な流れで株式会社高岡に入社いたしました。最初の8年ほどは、杉並の本社で自らトラックのハンドルを握って古紙回収の現場に立ちつつ、出荷用大型トラックの手配などの業務に奔走しておりました。その後、30代前半のある日、先代より「新座事業所の所長が高齢で数年内に引退する。後任を引き継いでみないか」との打診を受け、同事業所の所長に就任いたしました。

現場からマネジメントへと業務内容が一変したことで直面したのは、私自身の知識不足でした。新たな施策を講じる際も、参考にできる情報が自分の限られた現場経験と先輩方の助言しかありません。「このままでは、将来先輩方がいなくなった時に、自ら考え決断を下すことができない人間になってしまう」——そんな強い危機感を抱いたことを覚えています。

当時の私は、その不足を読書で埋めようと決意しました。ビジネス書からエッセイ、ルポルタージュまで、自分にない視点を求めて貪欲に

新社長 紹介



読み漁り、無事に十数年間、所長職を務め上げることができました。また、2020年夏に新型コロナウイルスに罹患し半年近く出勤できなかった際も、ほぼ電話の指示のみで現場が回る組織体制を構築できたことは、現在の大きな自信となっております。

余談ですが、読書を趣味とした当時、「静」の趣味だけでなく体を動かす「動」の趣味も必要だと考え、自転車を始めました。友人の勧めもありロードバイクを購入し、月に数回のサイクリングや片道13kmの自転車通勤を続けました。この趣味のつながりで良縁（結婚）にも恵まれたことを思うと、30代前半のあの時期は、私の人生における非常に重要な分岐点であったと、今になって感慨深く振り返っております。

話を戻しますと、昨年2025年12月に、先代から「来年を最後に代表を退くので、1年かけて引き継ぎをしよう。2月に入ったら具体的なスケジュールを決めよう」と言われていた矢先の急逝でございました。そのため、まさに青天の霹靂とも言える、大きな驚きと混乱の中での代表交代となった次第です。

十分な準備も経験もないままのスタートとなりましたが、若輩者ながら一步一步努力を重ね、会社と業界の発展に尽力してまいり所存です。組合の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、切にお願い申し上げます。





暑中お見舞い申し上げます

令和8年7月

(アイウエオ順)

新井紙材 株式会社 代表取締役 新 井 遼 一 東京都港区麻布十番2-7-1 TEL 03-3408-5862	王子斎藤紙業 株式会社 代表取締役社長 須 美 修 東京都新宿区新宿1-34-8 TEL 03-3226-6611(代)	株式会社 共益商会 代表取締役社長 赤 染 マ リ リ ン 東京都品川区南大井6-8-11 TEL 03-3763-9431
株式会社 新井商店 代表取締役会長 新 井 勝 夫 代表取締役社長 新 井 重 樹 東京都台東区根岸5-14-13 TEL 03-3873-9111	株式会社 大久保 代表取締役会長 大 久 保 信 隆 代表取締役社長 大 久 保 薫 東京都荒川区東日暮里1-40-5 TEL 03-3891-1188(代)	株式会社 工藤商店 代表取締役社長 工 藤 嗣 人 東京都板橋区前野町4-40-18 TEL 03-3965-5101
株式会社 育峯紙業 代表取締役社長 毛 塚 孝 男 茨城県古河市小堤315-14 TEL 0280-98-2632 FAX 0280-98-2635	大村紙業 株式会社 代表取締役社長 大 村 直 紀 埼玉県春日部市新宿新田14 TEL 048-718-0202	栗原紙材 株式会社 代表取締役 栗 原 護 東京都荒川区東日暮里1-27-9 TEL 03-3806-1751
市川紙原 株式会社 代表取締役社長 栗 原 正 光 千葉県市川市平田1-20-11 TEL 047-322-3301	株式会社 海 原 代表取締役社長 海 原 健 二 群馬県館林市新宿1-9-34 TEL 0276-73-0047	株式会社 グリーン 代表取締役 斎 藤 浩 二 千葉県松戸市紙敷879 TEL 047-391-1588
株式会社 市川商店 代表取締役 市 川 哲 也 東京都練馬区早宮3-12-18 TEL 03-3992-6136 FAX 03-3992-6137	株式会社 金澤紙業 代表取締役社長 金 澤 基 彦 神奈川県藤沢市白旗4-2810 TEL 0466-81-0865	株式会社 久米川紙業 取締役会長 吉 浦 高 志 代表取締役 吉 浦 亜 矢 子 狭山営業所：埼玉県狭山市市上赤坂606 TEL 042-391-4113
株式会社 今 井 代表取締役社長 今 井 利 明 埼玉県さいたま市浦和区 針ヶ谷1-1-14 TEL 048-831-5468	株式会社 金子商事 代表取締役 金 子 孝 埼玉県所沢市南永井767-5 TEL 04-2944-4097	株式会社 小池商店 代表取締役 小 池 茂 男 東京都新宿区新宿1-20-2 TEL 03-3354-9321(代)
ウブカタ資源 株式会社 代表取締役 金 子 真 澄 群馬県沼田市屋形原町2113 TEL 0278-22-5555	株式会社 木 下 代表取締役社長 木 下 一 善 神奈川県川崎市幸区戸手4-12-18 TEL 044-544-5611	株式会社 國 光 代表取締役社長 朝 倉 行 彦 東京都台東区東上野5-2-5 下谷ビル2階 TEL 03-6636-8525



暑中お見舞い申し上げます

令和8年7月

(アイウエオ順)

株式会社 近藤商店 代表取締役社長 近藤 國宏 東京都台東区元浅草4-1-3 TEL 03-3843-3866 FAX 03-3843-3867	株式会社 下田商店 代表取締役会長 土方 十四江 代表取締役社長 土方 道明 東京都日野市万願寺2-35-6 TEL 042-583-0753	株式会社 中 田 代表取締役社長 中 田 敏 夫 東京都渋谷区恵比寿西2-6-6 TEL 03-3461-5910
株式会社 斎藤英次商店 代表取締役 斎 藤 大 介 千葉県柏市柏6-1-1 TEL 04-7186-6701	株式会社 須 賀 代表取締役 須 賀 清 文 東京都荒川区東日暮里2-28-11 TEL 03-3891-6224	永田紙業 株式会社 代表取締役会長 永田 博太郎 代表取締役社長 永田 耕太郎 埼玉県深谷市長在家198 TEL 048-583-2141
株式会社 斉藤久七商店 代表取締役 斉 藤 岳 二 東京都荒川区東日暮里4-14-2 TEL 03-3806-2897	株式会社 坪野谷紙業 代表取締役 坪野谷 悟輝 栃木県下野市柴1-4 TEL 0285-44-5005	株式会社 ナコジ 代表取締役 大 本 知 昭 東京都千代田区神田錦町3-13-7 TEL 03-5280-3710
株式会社 齋藤商店 代表取締役社長 齋 藤 米 藏 東京都千代田区神田神保町1-46 TEL 03-3293-7701(代)	東日紙商 株式会社 代表取締役社長 渡 邊 明 美 東京都目黒区目黒1-17-17 TEL 03-5435-1091	有限会社 根本商店 代表取締役 根 本 祐 一 日立市平和町1-4-11 TEL 0294-21-2068
有限会社 斉藤宏商店 代表取締役 齋 藤 久 雄 群馬県高崎市柴崎町1175 TEL 027-352-6633	東京紙業 株式会社 代表取締役 赤 澤 満 東京都中央区八丁堀1-8-6 ライムライトビル4階 TEL 03-5540-6141	株式会社 平松商店 代表取締役 平 松 邦 明 東京都渋谷区幡ヶ谷2-42-5 TEL 03-3378-5631
株式会社 佐久間 代表取締役社長 佐 久 間 仁 宣 千葉県四街道市四街道1544-2 TEL 043-420-6501	株式会社 富 澤 代表取締役社長 富 澤 進 一 埼玉県川口市元郷3-21-31 TEL 048-227-3098 FAX 048-226-2044	株式会社 藤川紙業 代表取締役 藤 川 達 郎 東京都荒川区西日暮里2-32-20 TEL 03-3807-9347
三弘紙業 株式会社 代表取締役社長 上 田 晴 健 東京都文京区本郷1-30-17 TEL 03-3816-1171(代)	株式会社 中商ホールディングス 代表取締役 中 上 剛 東京都港区港南五丁目6番28号 TEL 03-6712-3815	株式会社 ブシュー 代表取締役 近 藤 豊 埼玉県新座市野火止1-13-41 TEL 048-479-7578



暑中お見舞い申し上げます

令和8年7月

(アイウエオ順)

北越パレット 株式会社 代表取締役社長 北 地 晃 千葉県市川市塩浜3-14-1 TEL 047-397-3115	株式会社 水 越 代表取締役 水越 謙太郎 〒316-0036 茨城県日立市鮎川町2-1-35 TEL 0294-36-2545 FAX 0294-35-8121 http://www.mizukoshi-re.co.jp/	株式会社 山 室 代表取締役社長 畑 純 一 東京都台東区元浅草2-2-15 TEL 03-3844-8191
株式会社 もっかいトラスト 代表取締役社長 長谷川 裕 一 埼玉県春日部市南栄町15-9 TEL 048-754-6298	皆川商事 株式会社 代表取締役社長 皆 川 三 彦 東京都板橋区舟渡1-9-11 TEL 03-3968-2427	
株式会社 増田商店 代表取締役 増 田 唯 之 専務取締役 増 田 悦 宏 東京都葛飾区立石2-23-17 TEL 03-3694-8824	美濃紙業 株式会社 代表取締役会長 近 藤 勝 代表取締役社長 近 藤 行 輝 東京都足立区千住東2-23-3 TEL 03-3882-4922	
松岡紙業 株式会社 代表取締役社長 佐 藤 元 彦 静岡県富士市蓼原110 TEL 0545-63-1212	むさし野紙業 株式会社 代表取締役社長 山 田 俊 介 埼玉県川越市大字下広谷404-1 TEL 049-239-3456	
株式会社 丸栄商店 代表取締役 金 井 篤 史 茨城県古河市尾崎11-2 TEL 0280-76-2690	株式会社 村松紙業 代表取締役 村 松 修 神奈川県横須賀市舟倉2-2-8 TEL 046-835-8562	
株式会社 丸興佐野錦一商店 代表取締役会長 佐 野 一 代表取締役社長 相 田 寛 文 静岡県富士市五貫島546 TEL 0545-65-6277	森田紙業 株式会社 代表取締役社長 森 田 臣 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2113 TEL 042-557-0864	
株式会社 丸十商店 代表取締役 高 橋 徳 行 東京都足立区本木2-10-1 TEL 03-3849-7201	株式会社 山 博 代表取締役 山 室 新 太 郎 東京都台東区元浅草3-8-4 TEL 03-3845-2828	

の後記



編集人



廃棄と集中

1980年代、古紙業界の課題は明確でした。回収率の向上、品質の安定化、流通の整備、そして古紙を製紙原料として確実に供給することです。先人たちは知恵と努力を重ね、これらの課題を一つひとつ解決してきました。その積み重ねが、今日の世界に誇る日本の古紙リサイクルシステムを築きました。

しかし、2040年に向けて、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。人口ボーナスから人口オーナスへ、古紙余剰から古紙不足へ、古紙回収量の増加から減少へ、3Rからサーキュラーエコノミーへ、そしてアナログからデジタル・AIへ。外部環境が変われば、組合が向き合うべき課題も変わります。

1980年代、多くの組合員企業にとって古紙事業は経営の中心でした。そのため、個々の会社が抱える事業課題と、古紙問屋組合が取り組む課題は、ほぼ同じ方向を向いていました。会社の成長が組合の発展につながり、組合の活動が会社の成長を支えるという、強い相乗効果があったのです。

現在、組合員企業は、廃棄物処理、プラスチック資源循環、サーキュラーエコノミーなどへ事業領域を広げています。企業が多角化すれば、経営課題も増えます。個々の会社の課題と、古紙問屋組合の課題が、すべて一致する時代ではなくなりました。

企業は、重要性の高い課題ほど、多くの人材・資金・時間を配分します。新たな事業課題が大きくなれば、古紙事業に投入される経営資源は相対的に減少します。その結果、組合活動に投入できる経営資源も、以前より限られていくでしょう。これは組合への忠誠心の問題ではありません。企業が将来の成長分野へ経営資源を再配分する、自然な経営判断です。

だからこそ、個々の会社の成長戦略と、組合の戦略を混同してはなりません。個々の会社にとって、古紙の売上減少を廃棄物処理などの新たな売上で補うことは、有用な選択肢です。しかし、廃棄物処理事業は、古紙問屋組合が本来取り組むべき事業とは異なります。役割が異なる以上、戦略も異なります。

古紙問屋組合が問うべきことは、「古紙の減少を何の売上で補うか」ではありません。問うべきことは、「古紙が減少する時代においても、古紙の回収、選別、保管、物流、利用をどのように維持し、持続可能な資源循環を実現するか」です。

そのためには、古紙リサイクルを構成するバリュー

チェーンとサプライチェーンを、川上から川下まで再点検する必要があります。排出者、行政、回収業者、古紙問屋、物流事業者、製紙会社、再生紙を利用する企業や消費者。それぞれの役割と負担を確認し、非効率、分断、将来のリスクを明らかにする。そのうえで、組合でなければ解決できない課題を洗い出し、優先順位を定めなければなりません。

回収量の減少、物流費と人件費の上昇、担い手不足、地域間格差、品質の安定、製紙会社への供給責任、デジタル化、脱炭素化。これらは、古紙リサイクルのエコシステムを持続させるために、組合が向き合うべき課題です。限られた経営資源を、こうした優先課題の解決へ集中する必要があります。

全ては、必ず陳腐化します。技術も、制度も、市場も、組織も、成功体験も例外ではありません。1980年代に成果を生んだ活動が、2040年代にも成果を生むとは限りません。役割を終えた活動は計画的に廃棄し、未来に必要な課題解決に経営資源を集中しなければなりません。

しかし、変えてはならないものがあります。それは、創立時の設立趣意に込められた使命と、組合の存在意義です。私たちは設立趣意を形式的に守るのではなく、その本質を正しく解釈し、その目的の範囲内で変化します。使命は変えない。活動は変える。その原則が、これからの組合の方針になります。

「次の世代が考えればよい」「若い人たちに任せよう」という考え方は、世代交代を尊重しているように見えて、当事者としての責任を未来へ先送りすることにもなりかねません。2040年の組合は、2040年になってからつくるものではありません。現在の私たちの意思決定によって形づくられます。

未来を若い世代に任せるのではなく、未来を託せる組合をつくって引き継ぐ。組合員は企業を変革し、組合は古紙リサイクルのエコシステムを持続させる。そのために何を残し、何を廃棄し、何に集中するのか。今こそ、その優先順位を明確にするときではないでしょうか。

組合は、創立時の設立趣意を正しく解釈し、その目的の範囲内で変化しなければなりません。古紙リサイクルのエコシステムを持続可能にするために、組合でなければ解決できない課題を見極め、限られた経営資源を集中する。それこそが、これからの古紙問屋組合に求められる「廃棄と集中」だと考えます。

(編集人/斎藤大介)

今年で
第18回

紙リサイクルの事を考えてみよう。

紙リサイクル促進大使
カミリヤマとカミリちゃん

全国小中学生 紙リサイクルコンテスト 2026

締切
**2026年
11/27** 金

当日消印有効

**募集
テーマ**

- ▶ 紙リサイクルに関する活動・体験やアイデア
- ▶ 紙リサイクル活動と持続可能な社会づくり
- ▶ 雑がみリサイクルの体験やアイデア

**応募者全員に
紙リサイクルノート
プレゼント!!**

**最優秀作品には
図書カード5万円分を贈呈!
他各賞、学校賞あり!!**

**団体応募は
30作品以上の応募で、
事務局が送料負担!!**

**2025年度
文部科学大臣賞作品**

ホームページでは
受賞作品のほかに
作品づくりのコツなど
公開中!!

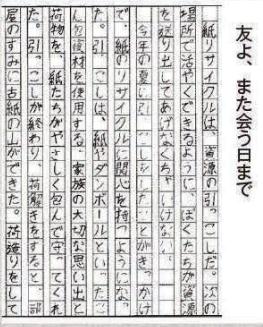
最優秀
作品

HPはこちら /





ポスター部門 中学3年生



作文部門 小学5年生

応募・お問い合わせ先

全国小中学生紙リサイクルコンテスト事務局 (JOBBOOT内)
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 KSビル4F
電話: 03(6403)3383 FAX: 050(6875)7592
メール: contest@jobboot.co.jp

紙リサイクルコンテスト

主催 公益財団法人古紙再生促進センター
後援 文部科学省 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国市町村教育委員会連合会
全国小中学校環境教育研究会 全国製紙原料商工組合連合会 日本再生資源事業協同組合連合会
段ボールリサイクル協議会 日本製紙連合会

応募方法など詳しくは裏面をご覧ください

全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2026 応募票

作品名				該当する項目に○をつけてください	
ふりがな		学 年	小学 中学 年	応募部門	1・作文 2・ポスター 1・団体応募 2・個人応募※
氏 名				選んだ テーマ	1・紙リサイクルに関する 活動・体験やアイデア 2・紙リサイクルと持続可能な社会づくり 3・雑がみリサイクルの体験やアイデア
学校名・ 教室名		担当先生名			
ポスターの意図 ポスター応募者のみ記入					

※個人応募の方は以下にご連絡先を必ずご記入ください。個人情報とは本コンテストの運営(連絡・発送)のみに使用し、厳重に管理します。

ご住所 〒	電話番号
-------	------

全て記入して、作品の裏に必ず貼り付けてください。

応募票が必要な場合は、公益財団法人古紙再生促進センターのホームページよりダウンロードできます。 <http://www.prpc.or.jp/>

安全でいこれ

令和8年度

安全は金より価値が高い!



春の安全作業月間

4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	

全国製紙原料商工組合連合会

